

「巻頭特集」

「農家のワイン」にこだわる株式会社國津果實酒醸造所

畑の魅力を、グラス一杯に

2014年、惜しまれつつも138年の歴史に幕を下ろした名張市立国津小学校。

たくさんさんの思い出が詰まった校舎は今、ワイナリーとして活用され、地域活性化の新たな拠点となっている。



校舎2階の一部を食品加工用に改装。今後のスペース活用を視野に入れている



Edamatsu Et Furuuchi Primeur

エダマツ・エ・フルウチ・プリムール2018(右)、2019(左)。年ごとに変化する味に合わせ、同じ商品でも毎年パッケージデザインを変えている

生産者の思いをそのままワインに込める

ワインづくりでは、ブドウをそのまま粉砕機にかけ、軸を取り除き、果汁を出して発酵させた後、密閉して3カ月から2年寝かせる。年によるブドウの出来や気候の変化に対応するため、データの蓄積もかかせない。醸造でこだわるのは、丹精込めて栽培されたブドウの個性。魅力的な部分を切り取り紹介する「農家のワイン」がコンセプトだ。ブドウ本来の味と飲みやすさを重視して野生酵母を使用するが、「自然派にこだわるつもりはない」と具紀さん。気付けば瓶が空になっているような喉ごしよさを求めつつ、データを集め適した方法を模索する。



2020年に販売予定の一部。パッケージイラストは野乃花さんが担当した

生産者ともめざす味を共有する。初年度につくった「エダマツ・エ・フルウチ・プリムール2018」は、「ビールみたいなワインをつくりたい」という思いに応え、発泡性を選んだ。現在取引するのは、自身の「中子農園」を含めた6生産者。名張市で栽培するブドウは「中子農園」のもののみで、市内生産者への周知が課題だという。

名張で生産されるブドウのほとんどは生食用。売れ残ったものを醸造してもいいワインは生まれにくい。具紀さんは、「醸造用ブドウに興味を持つてもらうには、地元で醸造所がある」と知ってもらうのが重要。将来は地域の農家さんと連携し、名張ワインのラインアップをつくりたい」と語る。

information

株式会社 國津果實酒醸造所

名張市神屋1866

國津果實酒醸造所



パッケージやラベルは、具紀さんと野乃花さんが手作業で貼る。ラベルには、生産者の名前を大きく記載する



中子具紀さん・野乃花さん

ワインを苦手としている人が、「これなら飲める」と驚くような、飲みやすくおいしいワインをつくるために試行錯誤を続ける

特産のブドウを利用した地域活性化をめざす

ワインには、土壌や気候といった生産地の特色が色濃く反映される。収穫年によっても味は変化し、同じものは二度とできない。株式会社國津果實酒醸造所の醸造家・中子具紀さんは「工業製品というイメージが強いですが、ほとんど野菜や果物と同じです。醸造段階で手を加えられない部分は少なく、ブドウの出来が品質を決めます」と語る。

スペインへの留学経験がある具紀さんは、語学力を生かしたいとワインの販売会社に就職。海外から訪れる生産者と交流するうちに、ワインづくりに興味を持つようになる。フランスで活動する自然派の醸造家が弟子を募集していると知り、2010年から修業を始めた。「この品種はこういう味だ」という固定概念が覆されました。同じ品種でも一つひとつ味が違っているのが面白くて、どんなのめり込んでいきました」

フランスで1年、スペインで1年修業した後、滋賀県のワイナリーに就職。

市内各地で名張の風土を生かしたさまざまなワインができるようになれば、「まちおこし」に繋がる

校舎に地域の店舗を誘致し新たな観光スポットに

醸造場所を貸出し、「自分でワインをつくりたいけど場所がない」という人に機会を創出している。株式会社國津果實酒醸造所をきっかけに、市内でワイナリーを運営する人を増やす狙いだ。「僕がつくるだけじゃなくて、市内各地で名張の風土を生かしたさまざまなワインができるようになれば、それこそ『まちおこし』に繋がると考えています。興味があれば、気軽に声をかけてほしい」と具紀さん。

現在は使用していない、校舎2階部分の活用にも力を入れる。食品加工用の改装を施しており、レストランやカフェの開設が可能。アクセサリーなどの作家として活動し、株式会社國津果實酒醸造所の商品のパッケージイラストも手がける。具紀さんの妻・野乃花さんは、「アトリエや、オシャレな雑貨店なども集まれば、新たな観光スポットになる」と笑みを浮かべる。

市民の思い出が詰まった校舎が、にぎやかさを取り戻す。地元の魅力あふれる場所で、名張でしか生まれない味のワインを楽しむ日が待ち遠しい。



⑥フタを上下し、醸造の量を調整できるタンクを準備。少量からワインづくりに挑戦できるようにした⑤樽の匂いがブドウの風味を邪魔しないように、あえて古樽を焼き直して利用